

埼玉県内企業の採用状況に

県内企業の採用は6割以上で「不足」と厳しい状況続く

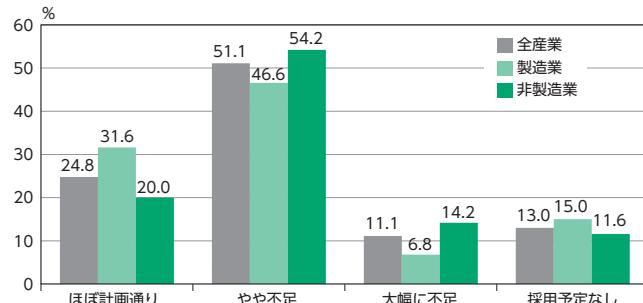
人手不足、採用難の状況が続いている。採用状況、採用方法等について県内企業に対してアンケート調査を実施した。

✓ 今年度の採用実績・見通し

今年度の採用実績・見通しについては、「ほぼ計画通り」が24.8%、「やや不足」が51.1%、「大幅に不足」が11.1%、「採用予定なし」が13.0%となった。「やや不足」と「大幅に不足」を合わせると、「不足」とするところは62.2%と6割を超え、厳しい採用状況となっており、人手不足が深刻であることがうかがえる。

業種別では、製造業は「ほぼ計画通り」が31.6%、「やや不足」が46.6%、「大幅に不足」が6.8%、「採用予定なし」が15.0%。非製造業は「ほぼ計画通り」が20.0%、「やや不足」が54.2%、「大幅に不足」が14.2%、「採用予定なし」が11.6%となった。非製造業で不足とするところが多かった。

● 今年度の採用実績・見通し

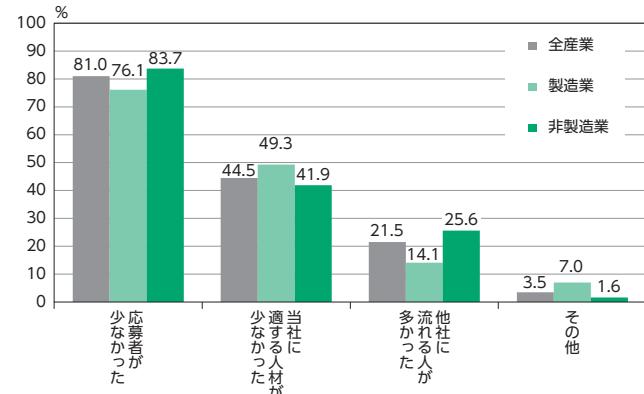


✓ 不足した理由

不足したとする企業の不足した理由は（複数回答）、「応募者が少なかった」が81.0%と最も多く、次いで「当社に適する人材が少なかった」が44.5%、「他社に流れる人が多かった」が21.5%となった。募集しても人が集まらない状況にあるようだ。

業種別では、「応募者が少なかった」、「他社に流れる人が多かった」で非製造業が製造業に比べて多く、「当社に適する人材が少なかった」で製造業が非製造業に比べ多かった。

● 不足した理由(複数回答)



✓ 中途採用の実施状況

中途採用の実施状況については、「実施している」が93.8%、「実施していない」が4.6%、「実施していないが今後実施したい」が1.5%となった。9割以上とほとんどの企業で中途採用を実施している。業種別にみても、製造業、非製造業ともに9割以上となっているなど、業種による差はみられなかった。

● 中途採用の実施状況

	全産業	製造業	非製造業
実施している	93.8	94.0	93.7
実施していない	4.6	4.5	4.7
実施していないが今後実施したい	1.5	1.5	1.6

✓ 採用における新卒採用、中途採用の割合

採用における新卒採用、中途採用の割合は、「新卒100%」が1.9%、「新卒中心で一部中途」が12.4%、「新卒、中途半々」が16.7%、「中途中心で一部新卒」が30.7%、「中途100%」が38.4%となった。新卒中心は少なく、多くは中途中心の採用となっている。業種別では大きな差はみられなかった。

● 採用における新卒採用、中途採用の割合

	全産業	製造業	非製造業
新卒100%	1.9	2.3	1.6
新卒中心で一部中途	12.4	7.5	15.8
新卒、中途半々	16.7	16.5	16.8
中途中心で一部新卒	30.7	30.8	30.5
中途100%	38.4	42.9	35.3

✓ 採用の時期、方法

採用の時期、方法については、「定期一括採用」が4.0%、「通年採用」が38.5%、「定期一括採用、通年採用を併用」が20.5%、「不足した都度採用」が36.6%などとなった。新卒採用のウエイトが小さくなっているなか、定期一括採用のみは極めて少なく、ほとんどの企業で通年採用を行っている。また、「不足した都度採用」も多い。

業種別で大きな差は見られないが、「不足した都度採用」で製造業が非製造業に比べ多かった。

●採用の時期、方法

	全産業	製造業	非製造業
定期一括採用	4.0	2.3	5.3
通年採用	38.5	37.1	39.5
定期一括採用、通年採用を併用	20.5	17.4	22.6
不足した都度採用	36.6	43.2	32.1
その他	0.3	0.0	0.5

✓ 採用で重視する人材(複数回答)

採用で重視する人材は(複数回答)、「新卒」が48.5%、「既卒(就職経験なし)」16.8%、「第二新卒(就職経験あり)」54.9%、「専門性の高い人材」67.3%、「IT系人材」が9.1%などとなった。

採用実績における新卒採用の割合は減っているものの、「新卒」を重視しているところは依然多い。

また、一般に卒業後3年以内程度で就職経験のある「第二新卒(就職経験あり)」が54.9%と高い割合となっている。「新卒」より高い割合となっており、「新卒」の採用の難しさもあるとみられるが、ある程度社会人

●採用で重視する人材(複数回答)

	全産業	製造業	非製造業
新卒	48.5	52.1	46.0
既卒(就職経験なし)	16.8	19.8	14.8
第二新卒(就職経験あり)	54.9	59.5	51.7
専門性の高い人材	67.3	73.6	63.1
IT系人材	9.1	7.4	10.2
その他	8.1	7.4	8.5

経験のある若年者のニーズは高い。また、「専門性の高い人材」は67.3%と高く、「専門性の高い人材」を中途で採用したいとする企業が多い。

業種別では、「専門性の高い人材」で製造業が非製造業に比べ多く、「IT系人材」で非製造業が製造業に比べ多かった。

✓ 重視する採用方法(複数回答)

採用方法で重視するものとしては(複数回答)、「求人サイトへの掲載」が最も多く、55.2%、次いで「公共職業安定所(ハローワーク)への求人」53.7%、「人材紹介会社」41.9%、「学校からの紹介」32.7%、「的なつながり、スカウト」25.4%、「自社のHPなどによる求人」22.9%、「新卒就職フェア」7.6%、「インターンシップ」6.3%、「転職フェア」5.1%などとなった。「公共職業安定所(ハローワーク)への求人」が5割以上と多いものの、「求人サイトへの掲載」、「人材紹介会社」も多く、求人にあたっては、民間の業者の利用も多い。

業種別にみると、「求人サイトへの掲載」で非製造業が製造業に比べ多く、「公共職業安定所(ハローワーク)への求人」で製造業が非製造業に比べ多かった。

(吉嶺暢嗣)

●重視する採用方法(複数回答)

	全産業	製造業	非製造業
求人サイトへの掲載	55.2	43.5	63.6
公共職業安定所(ハローワーク)への求人	53.7	67.2	44.0
人材紹介会社	41.9	42.0	41.8
学校からの紹介	32.7	35.1	31.0
的なつながり、スカウト	25.4	23.7	26.6
自社のHPなどによる求人	22.9	23.7	22.3
新卒就職フェア	7.6	4.6	9.8
インターンシップ	6.3	3.8	8.2
転職フェア	5.1	6.1	4.3
その他	1.0	0.8	1.1

2025年10月実施。対象企業数1,032社、回答企業数323社、回答率31.3%。